

“熊見横穴群”から石原・千原方向を望む

入梅そして夏至へ移りゆく 沢谷の風景

6月10日に梅雨入りし、21日には夏至を迎える季節。

山々を覆う木々の緑もすっかり初夏の色になりました。田植え当初は短かった苗も、順調に伸びて次第に存在感を表しています。また、畑の野菜類も、花から実へと成長を続けています。

5月は感染拡大防止のため、ほとんど記載が無かった沢谷交流センター（公民館事務室の予定表も）だんだんと利用予定が埋まってきて、賑やかになります。

子ども達も、休業そして分散登校を経て、マスクをしての窮屈そうな登校ながら5月25日から通常登校になり、邑智小学校の前を通ると元気に運動する姿が見えるようになりました。

しかし、油断は禁物です。有効な薬が開発されていない現段階では、第2次・第3次の感染が広がる不安を抱えています。

熱中症に気をつけながらもマスクの着用、手洗いや消毒の励行、三密（密集・密閉・密接）を極力避けた行動をこれからも続けていきます。



“千原八幡宮”から千原・熊見・石原方向を望む

今月の沢谷の風景は、1面には熊見横穴群と千原八幡宮の両方向から石原、千原、熊見を望む風景を掲載してみました。
 左の写真は、熊見と浜原地区久西との境界の山の中腹に残る「熊見横穴群」です。勇気を出して中を覗いて写してみました。



沢谷川上流側から“花の谷橋”を望む

右の写真は、沢谷川を跨いで九日市の猪子田(いのこだ)と花の谷を結び「花の谷橋」です。昭和32年10月竣工のコンクリート製アーチ橋です。川からの高さは15m、延長は約31m。現在は県道改良により新しい橋が架かり、車による通行は不可能となっています。

残念ながら木々が生い茂り、普段、その全景を望むのは難しくなっていますが、今回は、協力をいただきドローンで撮影することが出来ました。



沢谷川下流側から望む

わくわく！ 放課後教室
カラフル石鹸づくり

6月から週2回、邑智小学校児童を対象にした「わくわく！放課後教室（沢谷スタイル）」が沢谷公民館を会場に始まりました。

3回目となる15日(月)には、学校帰りの児童18名が集まり、重いランドセルをおろすと手洗いうがい。密を避けるため2班に分かれて、宿題学習とせっけん作りを交互に行いました。せっけん作りは、保湿成分のあるグリセリンソープを使った「カラフルせっけん」です。



素となるかたまりのせっけんを包丁で切るなどの難しい作業は高学年が低学年に教えながら進めました。透明なせっけんの中に、前回、低学年が作った色とりどりの星型やミッキー型せっけんを入れて固めるとゼリーのよう綺麗なせっけんの出来上がりです。家でしっかり手洗いしましょうね。



「ふるさと伝承館」に飾られた

鉛筆絵画七作品

九日市の「ふるさと伝承館」に鉛筆で濃淡を出して虎や龍、鯉などが描かれた7作品が展示されています。匿名希望の作者が、趣味で制作された作品です。

展示期間は未定ですが暫くの間は展示される予定です。紹介し

ます。
(月・火・木曜は休館です。)



雑感

「あたりまえの幸せ」

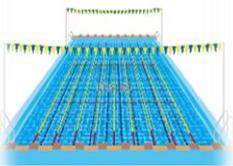
NHKスペシャルから

NHKスペシャル『池江璃花子』ふり向かずに前へ』を見た。多くの人が知っている競泳選手の「池江璃花子さん」。数々の日本記録を打ち立て、一昨年のアジア大会では6冠を達成し、東京五輪でも大いに活躍が期待されていた。しかし、高校卒業を前にした昨年、急性リンパ性白血病を発症し、治療に専念するため「必ず戻ってきます。」というコメントを残して表舞台から姿を消していた。

発症以前から取材を続けていた取材班が、およそ一年間の過酷な闘病生活を終え退院がなされた後から、医師の許可が出て再びプールに入るまでの姿を追った番組であった。

天真爛漫な姿と同時に、同じような病氣と闘う人进行いやる池江さんのスケールの大きさをも感じさせる番組であった。その中で、池江さんが「あたり前のことが、あたり前になくなったあと、再び出来るようになったとき、あたりのことを当たり前

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、私たちの行動はことごとく制限されることが多かった今年の春。



と気づくことなく、日々暮らしていたことがいかに貴重なことであったか。そして、いかに幸せなことであったか気づいた人も少なくなかったと思う。

命の淵と向き合い闘って語られた池江さんの言葉とは、大きな違いがあるかも知れないが、この度の感染症を機縁として、普段の暮らしの中の当たり前のことを、見つめ直してみたいものだと思う。

池江選手の自宅居間の天井には雲梯(うんてい)が備え付けられており、子どもの頃からぶら下がって移動していたらしい。そうした幼い頃からの英才教育や、プールの中の厳しくハードな練習により培われた体力や筋力は闘病中に失われ、退院当初は鉄棒にぶら下がることも辛そうだった池江さんが、数ヶ月後には10回の懸垂が出来るまでとなっていた。今後、日に日に、かつてのトップアスリートとしての姿を取り戻されることだろう。そして、その瞳からは東京の次の五輪であるパリ五輪出場を目指すという闘志も感じとれた。

病と闘いつつ、同じような病氣の人を勇気づけようとする姿、そして、復活に向けて努力する姿に、陰ながら応援を送り続けたい。



〜みどりの風〜

『不思議』

目があつて見ることができ
 ることも、耳があつて聞くこ
 とができることも、呼吸や心
 臓が昼夜無休ではたらき続け
 ていることも、手や足がそれ
 ぞれ自由にはたらいてくれる
 ことも、食べたものが血にな
 り肉になり骨になり、はたら
 きのエネルギーになってはた
 らいてくれることも、みんな
 みんなただごとではない不思
 議きわまることであつた。
 生きているとばかり思つて
 いた私が、生かされていた。

「東井義雄一日一言」

著者 東井義雄

発行者 藤尾秀昭

発行所 致知出版社より

沢谷公民館と沢谷連合自治会からお知らせ

『さあ！楽しもう！沢谷スタイル』の開催について（公民館）

新型コロナウイルス感染症予防のため公民館活動をストップしていましたが、感染の危険性が少ないと思われる事業から、予防に配慮しつつ少しずつ再開していきたいと思います。まず、「グラウンドゴルフ」、「三瓶ハイキング」など3つのメニューを計画しましたのでご参加ください。（別途チラシ参照）

『Enjoy!七夕 沢谷スタイル』の開催について（連合自治会）

例年、七夕の時期に子どもさん達を対象に「映画会」と「料理交流」を併せて実施していましたが、今年は趣向を代えて、少人数に分かれローテーション形式で楽しむプログラムを企画しました。（別途チラシ参照）なお、今年は昼食はありません。

※いずれの事業も、手洗いと手指の消毒、密接する場合のマスクの着用、体調聞き取りなどの感染予防を行いながら実施しますのでご協力ください。

★行事予定（6/22～7/20）

行 事	日 時	場 所
新型ｺｺｲｲに負けなｲ! 生涯元気教室	6/22(月) 15:00~16:00	沢谷体育館
ｺｺになんか負けなｲ健康運動(ｺｺｺ)教室	6/26・7/10(金) 13:30~	沢谷交流センター多目的室
さあ!楽しもう!沢谷スタイル①「グラウンドゴルフ」	6/30(火) 9:30~	沢谷交流センターグラウンド
青パト隊一斉パトロール	7/ 1(水) 19:00~	沢谷交流センター広場
自治会輸送バス	7/ 2(木) 8:45~	(沢谷~飯南町)
Enjoy!七夕 沢谷スタイル	7/ 4(土) 10:00~	沢谷交流センター全館
さあ!楽しもう!沢谷スタイル②「三瓶ハイキング」	7/ 9(木) 9:30~	現地集合
さあ!楽しもう!沢谷スタイル③「クラフト教室」	7/14(火) 10:00~	沢谷交流センター多目的室
新型ｺｺｲｲに負けなｲ! 脳の健康教室	7/16(木) 15:00~16:00	沢谷交流センター多目的室
わくわく!放課後教室	週2回 15:30~18:15	沢谷交流センター全館

沢谷地域の人口と世帯数（5月31日時点の住民基本台帳数値） ※（ ）内は前月増減
 人口 501 人（-6）〔男性 244 人（-3）・女性 257 人（-3）〕 世帯 218 世帯（+1-0）

〒699-4712 美郷町九日市 118 番地 沢谷公民館発行 TEL：75-1920 FAX：76-0022